

しちごう

誰でもが安心して暮らせる七郷を
みんなでつくりましょう

SHICHIGO

第 22 号

令和5年10月1日

七郷地区社会福祉協議会
仙台市若林区荒井三丁目7-2
(七郷市民センター内)

福祉委員の研修会 4年ぶりに開催



【研修会全体会の様子】

今年度の研修会は、コロナ禍が収まり 4年ぶりに開催された。会場となった七郷市民センターには、福祉委員や社協役員をはじめ仙台市社協若林事務所長の佐藤博信氏、七郷地域並びに大和・蒲町地域の各包括支援センターの渡邊美智子、佐藤弘美両所長のご臨席をいただき、総勢58名の方が出席して行われた。

研修会は、午前9時30分定刻通り始められた。まず初めに、講話として「七郷並びに大和・蒲町地域包括支援センターの役割と地域連携について」渡辺、佐藤両所長から最近の具体例を含めてお話しをいただきました。

その後、「地区社会福祉協議会と小地域福祉ネットワーク活

動」、について、若林事務所のCSW佐々木愛氏よりお話をいただきました。また、「民生委員と福祉委員の活動について」と題し、その違いなどを七郷地区民生委員児童委員協議会の会長今野正志氏より、わかりやすくお話しをしていただきました。

引き続き参加された福祉委員による「グループ別ディスカッション」が40分にわたり行われ「これからのサロン活動をどうしていこうか悩んでいる」「初めて会った対象者が次回も覚えてくれているか不安」「サロンに男性の参加が少ない」「担い手確保が課題である」等の意見が多く出され有

事例を交えて



【研修会講話の様子】

編集まえがき

「あらどうしよう。わかんないよ。原稿どんどんくるよ。やるしかないよ。自分を信じてがんばるぞー。」

文責 大友



【研修会話し合いの様子】

盛り上がった話し合い

意義な話し合いであった。

終わりの前に「小地域福祉ネットワーク活動記録・報告書」について推進委員の末永稔氏より説明を行った。

閉会の締めとして、七郷社協副会長朝比奈宇砂男より挨拶を行い無事終了した。

賑わいが戻った各地区サロン会会場 老若男女楽しい歌や寸劇に感激!

お
サ
ロ
ン
会
七 郷 地 区
社 会 福 祉 協 議 会



7ブロック寸劇 (黄門様)



9ブロック (お手玉運動)



5・6ブロック (マジックショー)



8ブロック (キッズサロン)



9ブロック (昭和スターかるた)



8ブロック (ネイルサロン)



11ブロック (フクロウの作製)



11ブロック (真剣に)

令和5年度 おめでとう! 福祉委員感謝状受賞

齋藤美恵子さん (霞目) ・ 後藤 由紀さん (かすみ親和)

菊池 陽子さん (蒲町) ・ 阿部 光子さん (蒲町)

※ 活動歴 8 年

民生委員会長へのインタビュー

七郷地区民生委員児童委員会 会長 今野正志氏

七郷地区社会福祉協議会

会長 庄子 正信 氏



会長の庄子さん

七郷地区の社会福祉活動は、民生委員児童委員と町内会長それに福祉委員の合計105名が参加し「小地域福祉ネットワーク活動」を実施しております。「サロン会」「通常見守り」「生活支援」等で高齢者や障害者、乳幼児を対象に支援活動や小さなお手伝い等が活動内容です。近年は「コロナ禍」等の影響で支援しにくい環境が続いております。このような中でも民生委員を中心に福祉委員や町内会が協力して「居場所づくり」や「情報交換」等の努力で地域の福祉向上に尽力していただいております。ご協力をいただいております「区役所」「社会福祉協議会」「包括支援センター」等の関係者の皆様には心より感謝を申し上げます。東日本大震災を経験した私たちが感じたことは「近隣での見守り、助け合い」です。「個人情報保護法」等の影響で近隣のお付き合いが希薄になってきた今、福祉活動は少なからず影響が出てきております。「顔の見える関係づくり」で「向こう三軒両隣で助け合う」こんな地域づくりが出来ればとの想いで活動を続けてまいります。地道で時間のかかる活動ではありますが地域の皆様には地域福祉の向上にご理解とご協力をお願い申し上げます。

Q2

なぜ民生委員児童委員になろうと思ったか。

民生委員はなろうとは思っていませんでした。わたくしの前の民生委員の死期が迫っているということで町内会長と前町内会長が自宅に見えられ、説得を受けました。保留していたのですが、前の民生委員が病床から電話をかけてきて民生委員となることを決心しました。何せ逝去数日前でしたので断る理由が見つかりませんでした。

Q1

民生委員児童委員になられてから何年になりますか。

民生委員となったのは平成二十一年六月一日からです。

Q4

民生委員として活動していく上で住民の皆さんに助けてもらって有難かったことは何ですか。

新町は他の地区と同様に高齢者が多かったと思っております。老人クラブも活発だったなあと感じましたし、サロン活動もいい働きをしていました。どちらもお手伝いしたかったですが、サロン会は政治的摩擦がなく、生き生きしていた様な気がしました。公園の花壇作りは、多くの高齢者や小学生の参加など楽しい日が沢山ありました。特に高齢者宅を何回も訪問していると、何か有った時は「この部屋にいるから助けてね。」という言葉がうれしかったなあと思い出します。

Q3

民生委員としての活動とプライベートとの両立で難しかったことは何ですか。

荒浜新町に家を建てたのは、好きな魚釣りや毎日できるかなあと云う事と草とか山菜採りとか、散策が沢山できると思っていたことです。



インタビューを受ける今野さん

決して民生委員を目指してはいたわけではありません。やるからには自分の趣味を減らしていくしかないなあと思っていました。

Q5

若い世代に求める役割、民生委員活動のやりがいを教えてください。

地域は震災により変わりましたが、七郷地区にあった仮設住宅廻りは皆さんの顔を見ることで安心・安全が感じられ、思い出となっています。

私達、民生委員児童委員は報酬をいただかないボランティアです。高齢者や子どもたちの笑顔を観て「ともに生き、支えあつて、互いに尊重しあい、孤立することなく、自分らしく安心して暮らせる地域をみんなで作っていく」ことではないでしょうか。そういう意味では社会福祉協議会と一緒に進んでまいりたい。私達も高齢者です。地域の活性化に若い力を貸してほしいです。

令和5年度 七郷地区社会福祉協議会役員

参与	会長	副会長	副会長	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	監事	監事	
今野	庄子	朝比奈	小野	南本	大友	末永	佐藤	大泉	熊坂	南雲	堀江	大泉	齊藤
正志	正信	宇砂男	款	敬治	周一	稔	栄	友一	茂彦	明美	幸子	権吾	榮朗

七郷地区町内会長

町内会	会長名	町内会	会長名	町内会	会長名
霞 目	荒 神 暁	蒲 町	阿 部 衍	荒 井 広 瀬	大 友 周 一
背 戸 東	佐 藤 眞 一	なないろの里	末 永 稔	荒 井 東	小 野 款
霞 目 背 戸	南 本 敬 治	伊 在	菊 地 榮 司	藤 田	木 村 悦 雄
か す み	朝比奈宇砂男	六 丁 の 目	遠 藤 耕 志	神 屋 敷 北	佐 藤 栄
かすみ町南	阿 部 弘 一	長 喜 城	大 泉 権 吾	神 屋 敷	佐 々 木 均
門 田 東	星 川 陽 平	上 荒 井	大 泉 友 一	四 ツ 谷	熊 坂 茂 彦
かすみ町中部	吉 田 敏 男	中 荒 井	庄 子 正 信	笹 屋 敷	菅 野 育 男
かすみ親和	寺 嶋 昇	荒井市営住宅	齊 藤 榮 朗	荒 井 南	安 達 正 則
い ず み	木 村 好 伸	下 荒 井	堀 江 達 郎	※ 連合加盟の26町内会です	

七郷地区民生委員児童委員

受持町内会	氏 名	受持町内会	氏 名	受持町内会	氏 名
霞 目	佐 藤 眞 一	伊 在	板 橋 正 樹	荒井市営住宅	今 野 百 合 子
背 戸 東	佐 藤 眞 一	六 丁 の 目	阿 部 七 重	下 荒 井	渡 邊 牧 子
霞 目 背 戸	佐 藤 眞 一	六 丁 の 目	本 田 竹 子	下 荒 井	吉 野 洋 美
か す み	菅 野 美 子	六 丁 の 目	佐々木たみ子	四 ツ 谷	吉 野 洋 美
かすみ町南	菅 野 美 子	六 丁 の 目	遠 藤 美 代 子	荒 井 広 瀬	佐 藤 信 子
門 田 東	菅 野 美 子	六 丁 の 目	星 直 美	荒 井 南	渡 邊 牧 子
かすみ町中部	菊 池 健 一	上 荒 井	堀 江 幸 子	荒 井 南	佐 藤 信 子
かすみ親和	菊 池 健 一	長 喜 城	堀 江 幸 子	笹 屋 敷	若 生 久 恵
い ず み	菊 池 健 一	上 荒 井	堀 江 淳 子	神 屋 敷	伊 藤 映 子
蒲 町	阿 部 昇	上 荒 井	萱 場 宏 之	神 屋 敷 北	伊 藤 映 子
蒲 町	佐 藤 千 夏	中 荒 井	今 野 百 合 子	藤 田	伊 藤 映 子
蒲 町	阿 部 恵 美 子	中 荒 井	針 生 芳 子	荒 井 東	若 生 久 恵
蒲 町	阿 部 利 光	中 荒 井	南 雲 明 美	なないろの里	今 野 正 志
蒲 町	齋 藤 吉 子	中 荒 井	渡 邊 か お り	なないろの里	末 永 郁 子

七郷地区社会福祉協議会福祉委員

町内会	氏 名	町内会	氏 名	町内会	氏 名
霞 目	斎 藤 美 恵 子	六 丁 の 目	木 村 千 恵 子	下 荒 井	星 正 子
霞 目	陣 野 和 子	六 丁 の 目	阿 部 宏 恵	下 荒 井	堀 江 典 子
背 戸 東	赤 間 悦 子	六 丁 の 目	幸 田 緑	下 荒 井	遠 藤 久 子
霞 目 背 戸	赤 間 淳 子	六 丁 の 目	遠 藤 浩 子	下 荒 井	金子まゆみ
か す み	宮 野 栄 子	六 丁 の 目	遠 藤 ふ み 子	四 ツ 谷	河 野 敬 子
かすみ町南	野 口 タ ケ 子	上 荒 井	庄 子 和 子	荒 井 広 瀬	山 崎 静 江
かすみ町中部	渡 邊 香 織	上 荒 井	赤 川 ヒ デ 子	荒 井 広 瀬	佐 藤 し げ 子
かすみ親和	後 藤 由 紀	上 荒 井	畑 山 良 四 郎	荒 井 広 瀬	佐 藤 恵 美 子
い ず み	菊 地 則 子	上 荒 井	佐 伯 直 哉	荒 井 南	菅 原 智 恵
蒲 町	菊 地 陽 子	上 荒 井	大 泉 み な 子	荒 井 南	小 只 美 千 代
蒲 町	阿 部 光 子	上 荒 井	堀 江 公 子	笹 屋 敷	細 谷 京 子
蒲 町	穴 戸 由 美	中 荒 井	遠 藤 い ね 子	神 屋 敷	高 橋 智 恵 子
蒲 町	阿 部 美 和	中 荒 井	板 橋 千 賀 子	神 屋 敷 北	庄 子 智 香 子
伊 在	針 生 憲 一	中 荒 井	松 木 和 枝	藤 田	峯 岸 し ず 子
伊 在	板 橋 元 章	中 荒 井	松 岡 幸 子	藤 田	鈴 木 榮 子
伊 在	星 次 男	中 荒 井	伊 藤 幸 子	なないろの里	庄 子 千 枝 子
伊 在	芳 賀 正 一	中 荒 井	熊 坂 寿 子		

令和4年度七郷地区社会福祉協議会決算書

令和5年5月23日(火)午前10時より、七郷市民センターで「四団体総会」が開催され、令和4年度の収支決算が承認されましたのでお知らせします。

収支決算書

令和5年3月31日現在

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
1 繰越金	2,178,846	2,178,846	前年度繰越金
2 会費	2,719,500	2,706,200	26町内会
3 交付金・助成金	1,759,700	1,891,600	
(1) 市社協交付金	1,359,700	1,353,100	会費×1/2
(2) 市社協助成金	400,000	400,000	基礎的活動・日常支援活動他
(3) 共同募金会	0	0	
(4) 自衛隊協力金	0	138,500	霞目駐屯地
4 雑収入	15	26	貯金利子
収入合計	6,658,061	6,776,672	

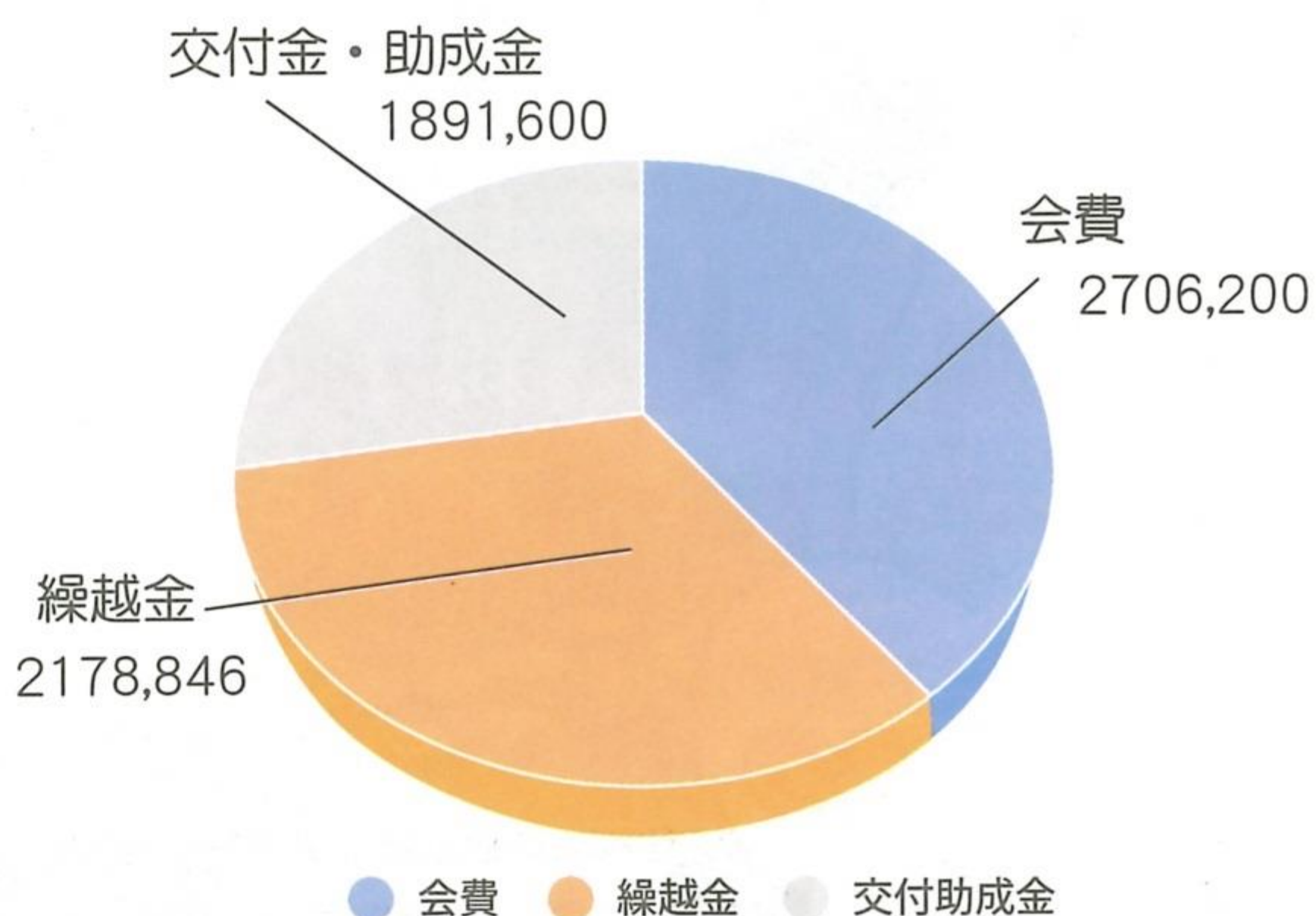
【支出の部】

科 目	予算額	決算額	摘 要
1 会議費	70,000	0	
(1) 評議員会費	20,000	0	4団体総会・移動研修会
(2) 役員会費	50,000	0	福祉関係諸行事企画会議
2 事務費	200,000	88,155	
(1) 需用費	75,000	23,155	事務用品
(2) 旅費	45,000	5,000	市・区主催会議 研修会(費用弁償)
(3) 役員手当	50,000	60,000	会長・副会長・庶務・会計
(4) 渉外費	30,000	0	
3 事業費	1,950,000	1,149,764	
(1) 生活援助費	100,000	6,400	
(2) 児童福祉費	30,000	30,000	蒲町・七郷学区児童福祉協議会
(3) 老人福祉費	450,000	526,890	敬老祝い品、七郷地区老連
(4) 福祉費	150,000	50,000	民児協、移動研修会、NW活動報告
(5) 青少年健育費	20,000	20,000	七郷地区青少年健全育成協議会
(6) NW活動費	1,200,000	516,474	地域福祉推進活動、昼食サービス
			各種研修会、ブロック会議、サロン会
4 社協送付金	2,719,500	2,706,200	令和4年度七郷社協会費9,065世帯
5 雑費	100,000	2,310	振込手数料
6 予備費	1,618,561	0	感染症対策会(消毒液、検温計他)
支出合計	6,658,061	3,946,429	

(収入合計) ¥6,776,672 - (支出合計 ¥3,946,429) = ¥2,830,243 (次年度繰越金)

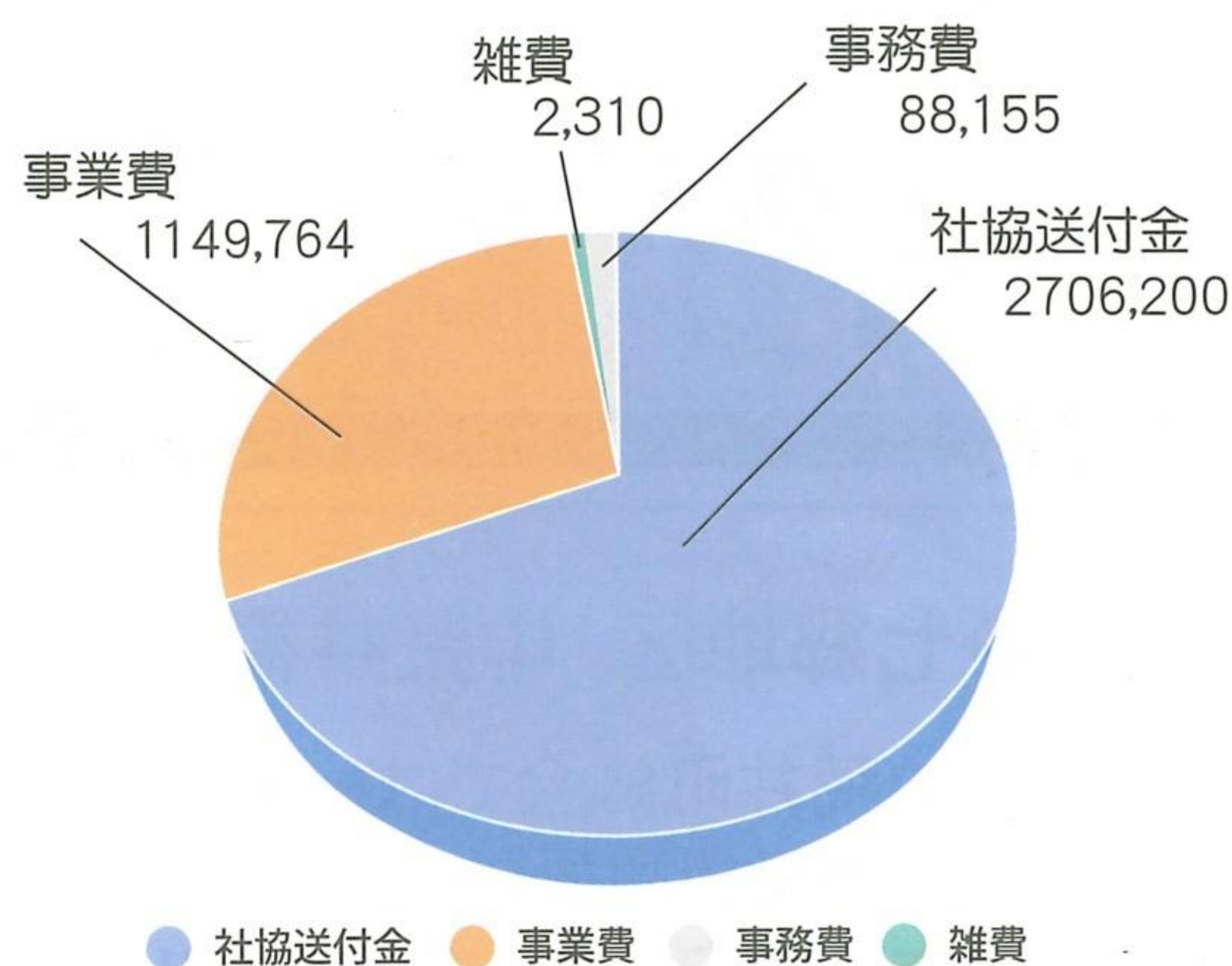
収入

会費	2706,200
繰越金	2178,846
交付金・助成金	1891,600
雑収入	26

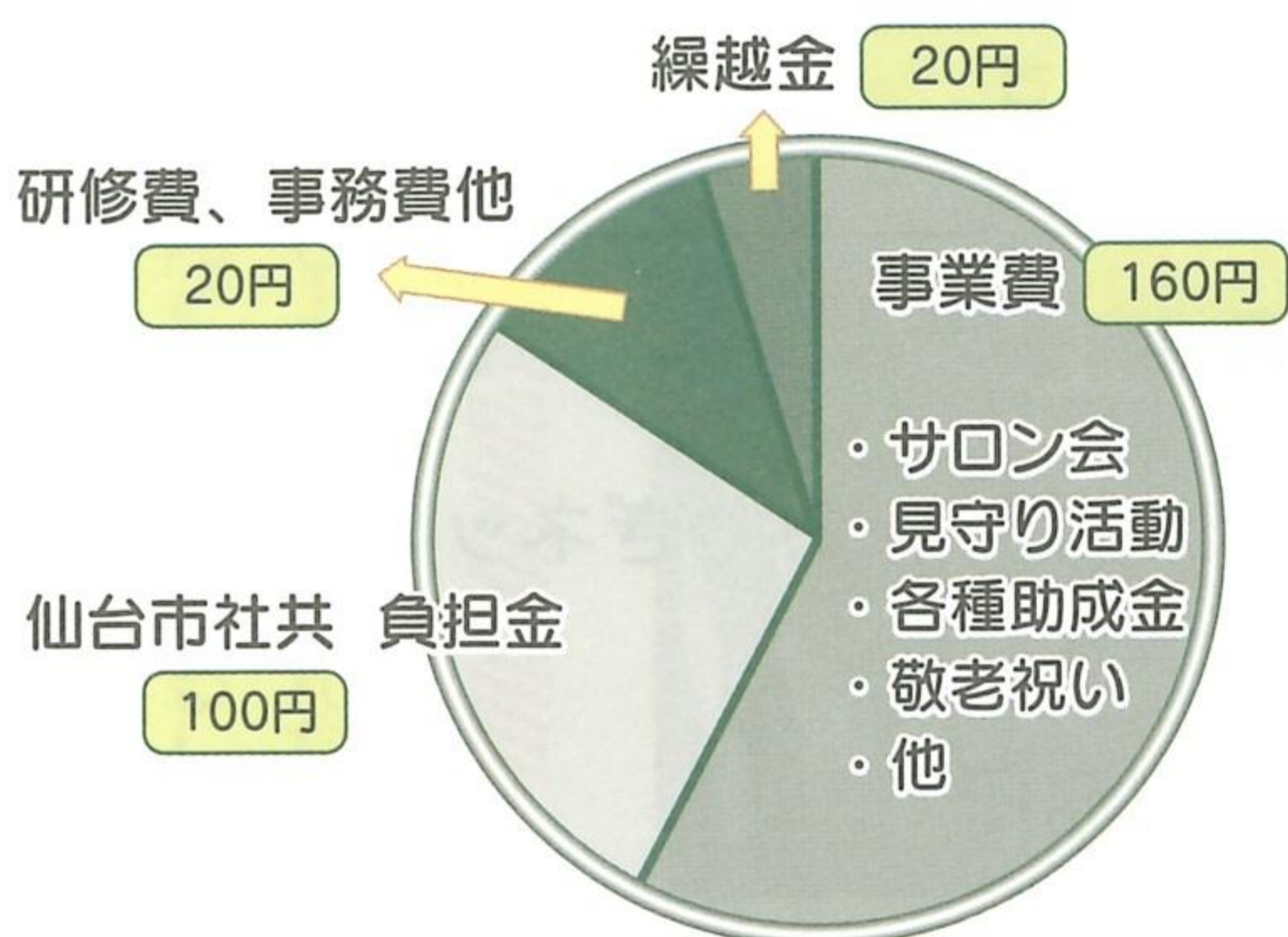


支出

社協送付金	2706,200
事業費	1149,764
事務費	88,155
雑費	2,310

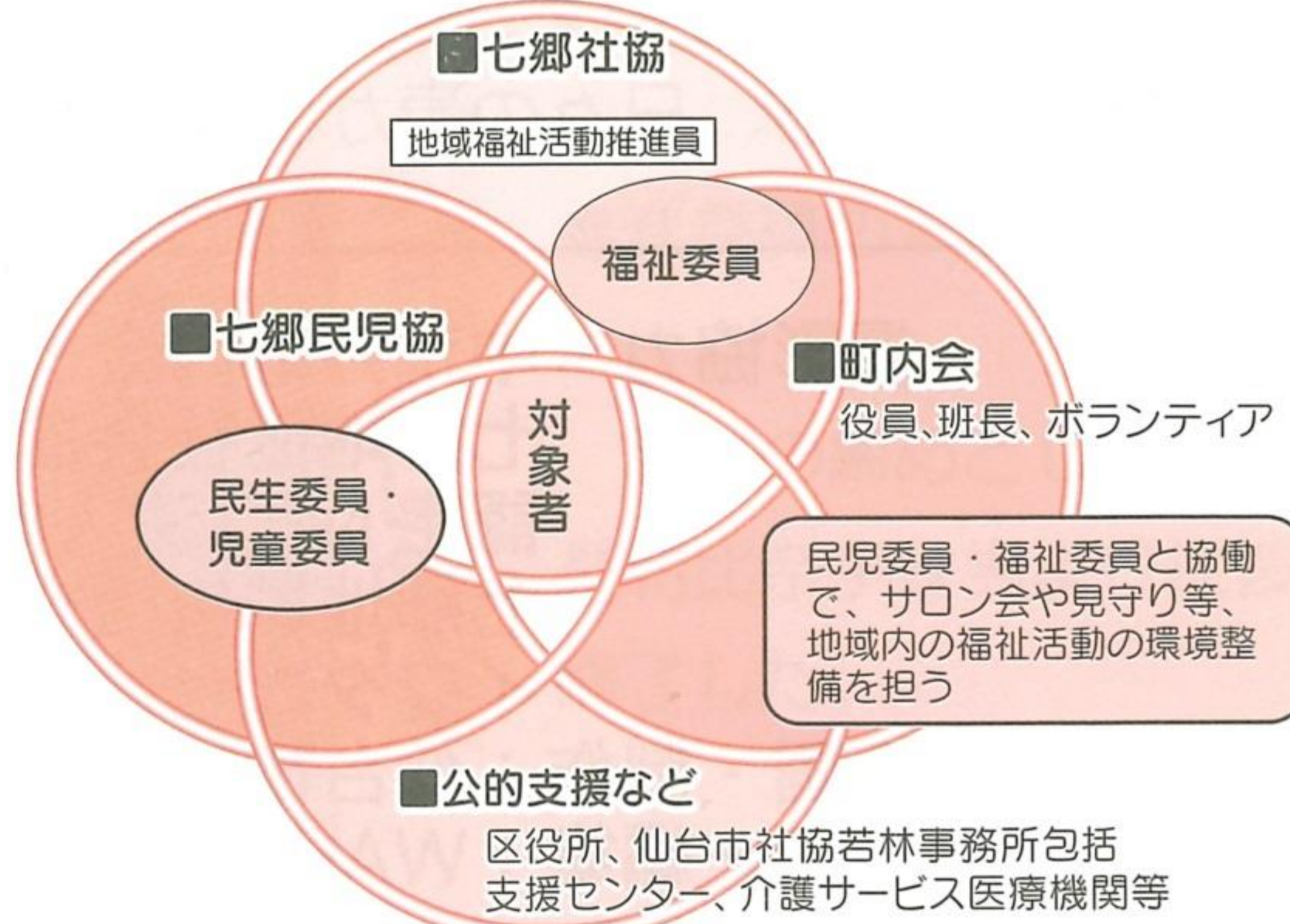


◇皆様からの「年会費300円」は有効に活用させていただきます。



会費の使い道

◇地区社協(七郷地区社会福祉協議会)がコーディネーターとなり、活動を進める。



小地域福祉
ネットワーク活動の仕組み

仙台市若林区 七郷地区

中荒井福祉委員会 キッズサロン

親子で楽しく学び合い！ママさんが繋がる憩いの場

仙台市社会福祉協議会 公式 YouTube チャンネル
「せんだい社協チャンネル」で公開中！



◆七郷地区 中荒井福祉委員会 キッズサロン

中荒井町内会では、平成 29 年から福祉委員会を結成しています。主なメンバーは、民生委員児童委員、主任児童委員、福祉委員、町内会役員です。高齢者を対象とした「ふれあいサロン会」や「見守り活動」に取り組む中、仙台市営地下鉄東西線が開業、「荒井駅」ができたことで、周辺の開発がすすみました。人口が増え、子育て世帯も増加したことで、「福祉委員会で子育ての応援ができれば良いな。未就学児親子のためのサロン会を実施してみよう。」と考え、平成 30 年に「キッズサロン」が始まりました。年 1 回のサロンでの出会いから、日々の声かけや見守りにつながっています。

撮影協力：中荒井町内会・中荒井福祉委員会

七郷地区社会福祉協議会

認定 NPO 法人冒険あそび場ーせんだい・みやぎネットワーク

七郷地域包括支援センター

イワタニセントラル株式会社

企画・制作：仙台市社会福祉協議会若林区事務所

撮影・編集：WACO CREATE

令和 5（2023）年 8 月